

1. 魅力ある観光地づくり

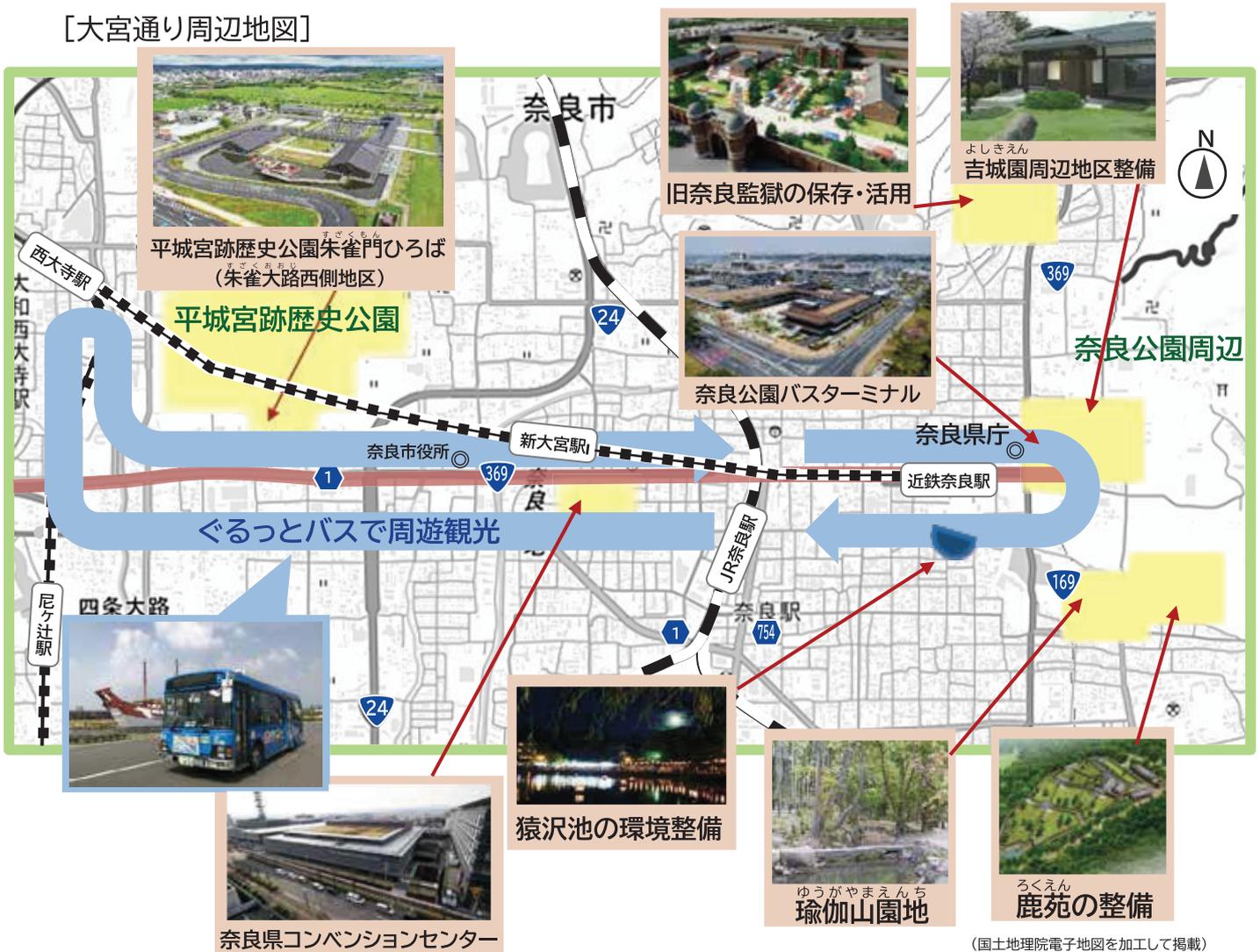
【道路保全課】【奈良公園室】【平城宮跡事業推進室】【公園緑地課】【道路建設課】

(1) 大宮通りのにぎわいづくり

【道路保全課】【奈良公園室】【平城宮跡事業推進室】

朱雀門ひろば(H30年3月24日)や奈良公園バスターミナル(H31年4月13日)に続き、昨年度は、奈良県コンベンションセンター(R2年4月1日)、瑜伽山園地(R2年5月24日)、JWマリオットホテル(R2年7月21日)がオープンしました。今後も吉城園や旧奈良監獄の宿泊施設などのオープンが控えるなど、拠点整備を進めていきます。

[大宮通り周辺地図]



コラム 大宮通りイルミネーションと植栽ボランティア

【道路保全課】

●大宮通りイルミネーション

冬季に奈良県を訪れる観光客への「おもてなし」として、大宮通りのイルミネーションを実施しています。
[令和3年度の実施期間：11月24日(水)～3月14日(月)]



▲大宮通りイルミネーション



●植栽ボランティア

大宮通りでは、ボランティアの方々や、沿道企業の方々が花壇の植付やゴミ掃除にご協力頂いています。



▲大宮通りの植栽ボランティア



● 平城宮跡歴史公園の整備推進

平成20年の閣議決定に基づき、「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間」を基本理念に、国営公園事業と連携し、県営公園区域の整備を進めています。

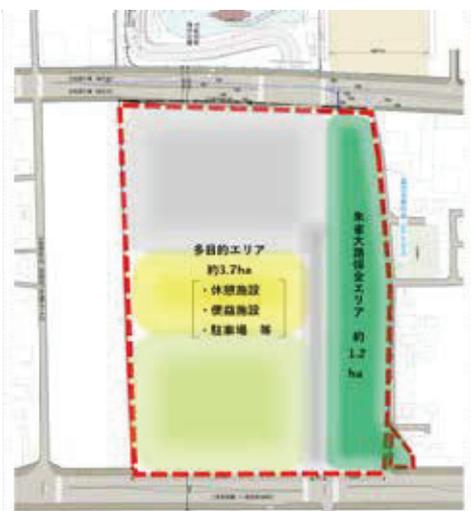
平成30年3月には、飲食物販施設(奈良県)やガイダンス施設(国土交通省)を配置した「平城宮跡歴史公園 朱雀門ひろば」がオープンし、平城宮跡での利便性は格段に向上しています。

平成30年度からは朱雀大路東側の「歴史体験学習館」の整備、令和元年度からは平城宮跡南側(積水化学工業(株)の工場跡地)で憩いや賑わい機能をもった公園整備に向けた取組を進めており、古都奈良のゲートウェイとして機能する観光・交流の拠点として、今後、更に平城宮跡の魅力を向上させる取組を進めていきます。

- (令和3年度の主な取組) ・朱雀大路東側地区……建築(意匠)基本計画の策定、用地取得
- ・平城宮跡南側地区……整備計画の策定に着手、仮設駐車場の整備



○平城宮跡南側地区整備



(※表記しているレイアウトは現段階の案です)

○朱雀大路東側地区整備



▲整備イメージ



“奈良時代を今に感じる”歴史・文化体験と交流の舞台となる空間を整備します。

▲検討中の歴史体験学習館イメージ
(※表記しているイメージは現段階の案です)

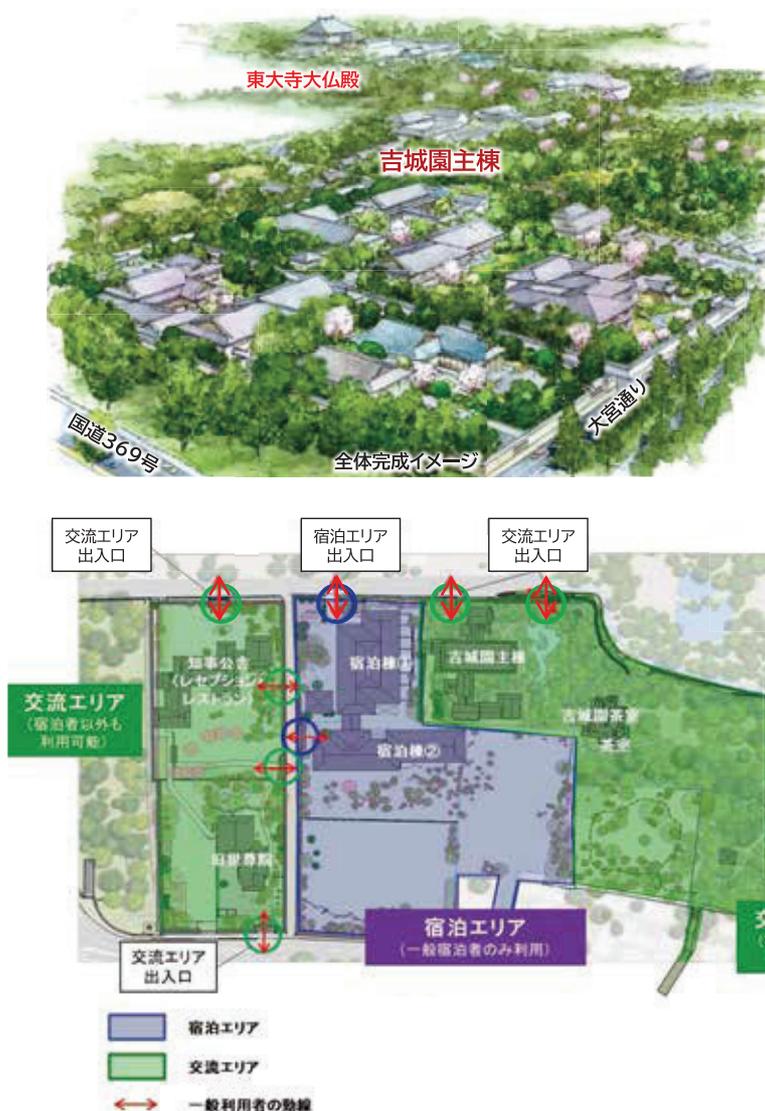
● 奈良公園周辺の整備

奈良公園周辺にある未利用の空間に、民間活力を最大限活用して宿泊施設等を整備することで、これまで維持管理が難しかった名勝の価値をさらに高めるとともに、滞在型観光を促進します。

○吉城園周辺地区整備

江戸末期から昭和初期の『和を基調とした風情の中に洋を感じる近代建築物』と庭が織り成す空間美を保全しながら、ゆったりとくつろぎ宿泊することができる空間をつくりあげます。

県では、吉城園周辺の土堀の修景、無電柱化を行うとともに、奈良公園バスターミナルから東大寺大仏殿までの間に情緒あふれる周遊路を整備し、名勝の価値を高めます。



吉城園は大正8年に造られた日本庭園で、庭園鑑賞及び茶会に広く利用していただけでなく、平成元年に開園しました。

宿泊施設等を整備し、吉城園の利用を活性化させることによって、さらなる吉城園周辺地区の魅力向上に努めていきます。

○旧奈良監獄の保存・活用

旧奈良監獄ホテルの整備に向け、法務省、奈良市との包括協定に基づき、旧奈良監獄アクセス道路整備事業を支援するなど、歴史文化価値を保存・活用するための事業への協力を継続していきます。



旧奈良監獄ホテルのイメージ
(法務省より提供)

● 奈良公園・猿沢池周辺のアメニティ向上

奈良公園のさらなる魅力向上に向けて、引き続き奈良公園のアメニティ向上に努めていきます。

○奈良公園バスターミナルの活用

観光バスによる渋滞を緩和するとともに、アメニティ(展望の良い休憩スペース、飲食物販店等)の充実や奈良公園周辺の歴史文化を学習できる施設として、観光客へのおもてなし環境を向上しています。また、令和2年4月からはレクチャーホールを有料の貸館とし、より多くの方にご利用頂き、奈良公園の賑わいを創出します。

今後は、奈良公園周辺における周遊環境を高め、大仏殿前駐車場の環境整備、待合所設置などを進めます。



▲奈良公園バスターミナル



▲バスターミナル内乗降場



▲音楽イベント



▲出発を待つバス



▲東棟1階の様子

○天然記念物「奈良のシカ」の保護・鹿苑の整備

県では100年後も人とシカがより良い関係で共生できるよう、奈良市や春日大社等と連携しながら、「奈良のシカ」の保護・育成に努めています。また、シカの保護施設「鹿苑」の整備も進めています。



▲天然記念物「奈良のシカ」



▲鹿苑の整備イメージ

○特別天然記念物「春日山原始林」の保全

ナラ枯れや外来樹種の侵入などによる荒廃から特別天然記念物「春日山原始林」を守り再生するため、「春日山原始林保全計画」に基づき、保全に努めています。



▲ ナラ枯れの被害を防ぐ薬剤の樹幹注入

○猿沢池の環境整備

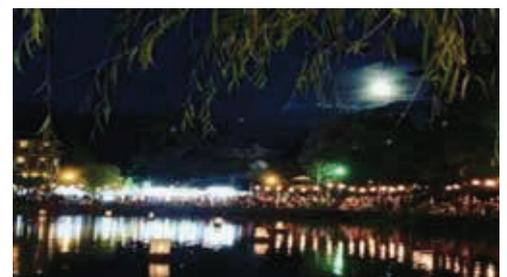
猿沢インのウッドデッキ整備、五十二段北トイレの建替などの環境整備や「ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩」などのイベント開催により猿沢池周辺の環境整備を進めていきました。引き続き、楽しめるまちづくりを目指し、取組を行っていきます。

○名勝「奈良公園」の価値を高める植栽整備による景観保全

植物の生育環境や眺望景観を改善し、名勝「奈良公園」の価値を高めるため、「奈良公園植栽計画」に基づき、整備を行っています。



▲ 鶯池と浮見堂



▲ 猿沢池周辺のイルミネーション

● 大宮通り周辺のイベント

大宮通り周辺では、四季を通じて県内外から多くの人々に訪れていただけるよう、奈良の奥深い魅力をブランディングし、ゆっくりじっくりと楽しめるイベントを展開していきます。

平城京天平祭・春



5月

天平たなばた祭り ～平城京天平祭・夏～



8月

みつきうまし祭り ～平城京天平祭・秋～



11月 (例年10月開催)

世界遺産・古都奈良の文化財「平城宮跡」で天平時代を体感できる祭りです。年3回「春」、「夏」、「秋」に実施されており、当時の衣装で隊列が練り歩く天平行列など、さまざまなイベントが行われます。

なら燈花会



8月

グレートサマーフェスタ ならまち遊歩、きたまちという



11月 (例年8月開催)

奈良大菊人形展



10月

古都奈良の幻想的な風景の中、奈良公園一帯で約2万本のろうそくを灯します。

ならまちの提灯やきたまちのランタンの灯りによる彩りで、奈良公園周辺の新たな魅力を創出します。

奈良ゆかりの歴史上の人物を再現する菊人形展を開催します。秋の風物詩を楽しみながら、奈良の歴史や魅力を再発見できます。

Autumn Festival in 奈良公園バスターミナル



10月

奈良公園の秋を楽しみつつ、奈良公園バスターミナルレクチャーホールで奏でる様々な音楽を聞き、心休まるひとときを過ごしていただけます。

若草山焼き



1月

古都奈良に早春を告げる伝統行事。山全体が燃やされ、夜空を焦がす様子は圧巻です。

しあわせ回廊なら瑠璃絵



2月

奈良を代表する三社寺を幻想的な光の道でつなぎ、美しい瑠璃絵の世界に皆様を誘います。

※R3年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止、延期、規模縮小、イベント名の変更を行っている場合があります。